

平成 29 年度 地域ケアプラザ事業報告書

■ 施設名

横浜市若葉台地域ケアプラザ

■ 事業報告

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのように行ったのか、具体的に記載してください。

以下、事業実施評価との共通部分

1 全事業共通

(1) 地域の現状と課題について

高齢者：高齢化が進み、相談の内容も複合的な問題を抱えた人が増えている。高齢者の支援に限らず、家族のひきこもりや精神障害、ゴミ屋敷など、様々な問題の相談を受け、必要に応じて行政に繋げた。また、緊急対応が必要な相談について関係機関と協力して対応した。

子ども：子育てささえ合い連絡会、若葉台母の会に協力してサロンやプレイパークの開催や、子育てサポート会議等、地域の子育てについて活発な動きがあるも、子育て中の父母・子が地域の中で孤立しないように、様々な働きかけにより出来るだけ多くの子育て中の父母・子とつながる必要がある。

障がい児・者：地域に住む障がい児・者について障がい児・者のテクテクノ会や NPO 若葉台や協力して支援した。発達障害のある子の父母との情報共有や支援・協力にも努めたいと考えている。

その他：地域活動団体のボランティアの高齢化が課題になっている。ボランティアの世代交代に向けて、年間を通し新たなボランティアのきっかけ作りを目的としたボランティア養成講座基礎編や、ボランティアのステップアップを目的としたボランティア養成講座スキルアップ編、ボランティア交流会などを開催した。

(2) 相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

高齢者：かがやきクラブへの訪問や、コミュニティハウスでの出張相談会など、相談しやすい環境を整え、地域や家族からの相談を受け、スムーズな支援に繋がるように努めた。

子ども：子育てささえあい連絡会、子育て母の会に協力して、サロンやプレイパーク開催の後方支援、また、わかば子育てサポートグループの会議に出席して意見交換や情報共有を行った。

障害分野：精神障害者サロン「もぐもぐ」を開催した。地域の NPO 法人若葉台が運営する障がい者の作業所「ぶんげいざ」と相談・連携できる関係づくりができた。

(3) 各事業の連携

- ・地域活動交流コーディネーターと生活支援コーディネーターが協力して、ボランティア養成講座や、よこはまシニアボランティアポイント研修会、ボランティア交流会を開催してボランティア育成に努めた。
- ・若葉台中学校の地域交流の日に協力して、5職種が連携して認知症サポーター養成講座、高齢者疑似体験、車いす講習会を開催した。
- ・地域包括支援センターが行っているかがやきクラブなどへの訪問の際に、地域活動交流コーディネーターや生活支援コーディネーターも協力して、役割の周知に努めた。

(4) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

- ・地域包括支援センター職員の4名体制を全期間維持出来なかったが、早急な採用活動により職員配置に努めた。
- ・5職種会議を毎月開催し、5職種の連携に努めた。
- ・行政や社会福祉協議会が開催する研修会に積極的に参加した。
- ・相談や予防ケアマネジメント、介護サービス計画作成の時に、周辺地域の介護サービス事業所の情報を提供して、公正な選択ができるように努めた。
- ・主任介護支援専門員による研修会で、事例検討やスーパービジョン、制度について等、介護支援専門員に必要なスキルアップに努めた。

(5) 地域福祉保健のネットワーク構築

- ・連合自治会関係者とまちづくりセンター、住宅供給公社とで定期開催している「未来づくり協議会」や、NPO若葉台の地域交流拠点「ひまわり」の会議に出席して、情報を共有し、必要があれば介護保険制度等の情報を提供した。
- ・かがやきクラブや地域のイベントに訪問して、顔の見える関係づくりと情報収集に努めると共に、地域ケアプラザを周知してもらえるように努めた。
- ・地域の各団体の活動に訪問して、ネットワーク構築に努めた。
- ・民生委員と必要に応じ情報を共有して活動を支援した。
- ・年4回発行の「ケアプラザだより」の他に、毎月「事業のお知らせ」を地域の関係機関に配架した。

(6) 区行政との協働

- ・ NPO 法人若葉台が運営する「ひまわり」のサービス B に向けた支援を、区役所、区社協と協力して行った。
- ・ ゴミ屋敷問題について区役所と協力して、状況把握など情報を共有した。また区役所が開催する研修会に参加して、対応の方向性などを一緒に学んだ。
- ・ 地域福祉保健計画の支援チームとして区役所と協力した。
- ・ 団地再生に向けた未来づくりプラン推進会議に出席し、情報の共有と意見交換を行った。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

- ・ 体操教室やノルディックウォーキング等運動教室を実施し、地域住民の介護予防に努めた。
- ・ 地域住民の声から講座を開催し、自主的なサークルとしての活動へと繋がった。
- ・ 地域団体の活動の場として福祉フェアを開催した他、地域住民の憩いの場としてクールシェアやコンサート等を開催した。
- ・ 子育て支援として親子で参加できる体操を実施した他、今後の事業開催に向けて地域の子育て支援グループとの連携・情報共有に努めた。
- ・ 心に不安のある当事者とボランティアが交流できる居場所として精神障害者サロンを実施した。
- ・ 中学校での授業において福祉教育を実施し、ケアプラザと地域の関わりを強めると共に福祉に対する理解を深められるよう努めた。
- ・ 地域内で活動をするグループとの関係をより深め、今後の自主事業において地域の声に基づいた運営が行えるよう業務を行った。

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- ・ 貸館利用についてのルールに従い公正中立な利用運営に努めると共に、地域の団体が活動しやすいよう相談を受けて調整を行うなどした。
- ・ 福祉フェア等の催しの中で福祉保健活動団体が活動できる機会をつくった。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

- ・ 体操教室や歌声広場にてボランティアの活動の場を提供した他、運動事業にて新しくボランティア活動の場を創った。
- ・ ジュニアボランティアへの関わりを継続し、小学生の福祉に対する理解が深められるよう努めた。
- ・ よこはまシニアボランティアポイント研修を実施し、参加者のボランティアについての思いや今後の希望などを記録し地域のボランティア人材の把握に努めた。
- ・ 生活支援コーディネーター、地域包括支援センターと連携のもと、若葉台ケアプラザにて活動をするボランティアのみでなく地域内で活動する様々なボランティアを対象としたボランティア交流会を実施した。個人での活動・団体での活動の内容を相互に共有でき、活動の幅を広げられるように努めた。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- ・連合自治会・地区社会福祉協議会・民生委員児童委員協議会等地域が開催する催しや会議、会合、茶話会等に参加し、地域内の情報を得るとともにケアプラザからの案内等を行い、必要に応じて情報収集・支援・協力を行った。
- ・子育てささえあい連絡会やわかば子育てサポートグループの会議に参加し、地域内の子育てに関する情報収集・支援・協力を行った。
- ・地域内全戸を対象に四半期に一度「ケアプラザ便り」を発行・配布していることに加え、毎月の事業案内を地域やケアプラザに配架してケアプラザについての情報を地域に発信した。
- ・「みんなの若葉台」「わかば通信」を中心に地域の広報紙に情報を掲載し、ケアプラザの情報を発信した。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

- ・包括支援センター・地域活動交流・生活支援の5職種による会議を毎月開催し、地域情報の共有や各部門の取り組みについて確認した。特に地域の人材育成に関しては5職種で検討し、ケアプラザ主催事業でも活躍の場や活動紹介の場を設けた。
- ・区社協地区担当、地域活動交流コーディネーター、生活支援コーディネーターで定期的に地域情報の共有を行った。
- ・地域での活動に訪問した際に、生活支援体制整備事業についての説明やケアプラザの役割等を周知することに努めた。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

- ・地域のサロンやかがやき（老人）クラブ等に訪問し、活動状況や課題の把握に努めた。活動に関する相談を受けた際は必要な情報の提供や関係機関の紹介を行った。
- ・地域活動の人材育成を目的としたボランティア養成講座の基礎編とスキルアップ編（傾聴講座）を実施した。
- ・地域のボランティア団体を一覧表にまとめた「若葉台地域の支えあい活動」を作成し、シニアボランティアポイント登録研修会やボランティア養成講座等の際に配布した。また、ボランティア活動に関する問い合わせがあった際に活用した。
- ・「元気づくりマップ」の更新作業を通して、地域の介護予防活動を把握した。活動の周知にマップを活用した。

(3) 連携・協議の場

- ・2月に移動支援検討会を開催した。未来づくり協議会で階段の移動に関する課題が挙げられている。また100年マンションプロジェクトでも階段昇降機の設置が検討されたが、実現には至っていない。昨年度の地域ケア会議でも活動場所は多いが、そこに行くことができない方が増えるのではないかと課題が挙げており、地域の移動に関わるサービスを行っている事業所、ボランティア団体等の方々と意見交換を行った。
- ・地区社協理事会では「孤立」の問題にどのように対応していくか話し合いを進めた。参加者が自分事として捉えられるように事例提供等を行った。
- ・認定NPO法人若葉台が今年度10月より横浜市介護予防・生活支援サービス補助事業の補助金交付団体となった。介護予防プログラム実施日に訪問し活動状況を確認するとともに、「ひまわりサポート会議」等に出席し情報交換を定期的に行った。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

- ・旭区生活支援コーディネーター連絡会で他のケアプラザ、区役所、区社協と情報共有を行った。
- ・旭区食事サービス連絡会では情報交換会を実施し、配食・会食の活動状況や課題などを共有した。2月に開催した研修会では、会食会などに参加ができなくなっている高齢者が増えてきている現状から認知症の方への対応と民生委員との連携について話し合いを持った。
- ・サロンやちょっとボランティアも区内で多数の団体が活動している。団体同士の情報交換や課題共有のため、旭区サロン連絡会、旭区ちょっとボランティア連絡会の立ち上げに協力した。
- ・旭区内には買い物が不便な地域があるため、配達を行うスーパーの一覧を区域で作成し、高齢者やケアマネジャーに紹介できるように準備している。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

① 地域におけるネットワークの構築

- ・関係機関との連携が取れるように、各種地域団体の会議等へ積極的に出席した。
- ・老人（かがやき）クラブ等の会合へも出席し、地域包括支援センターの紹介や顔の見える関係づくりを行うことで、相談しやすい雰囲気づくりに努めた。
- ・地域内の問題を抱える方の支援については、民生委員と一緒に訪問するなど協力体制を構築した。また、必要があれば区や区社協と連携して支援した。
- ・地域包括支援センターの役割について保健活動推進員から講師依頼を受け講演した。
- ・老人（かがやき）クラブの訪問や自治会の集会では、独自に作成した包括PRのチラシを配布し、役割等の説明を行った。

② 実態把握

- ・高齢化率の高い割に介護保険の認定率が低い地域ということで、色々な機関から調査質問を受けた。そのことをきっかけに、より地域の実態に対する関心が所内で高まった。地域の色々なアンケートにも、関心を持つようにした。
- ・相談内容や事業でのアンケートから、ニーズの把握を行った。
- ・地域の催しや会合に参加し、直接住民から情報を得た。
- ・生活支援コーディネーターと地域のインフォーマルサービスの実情の情報を共有し、課題等について話し合った。

③ 総合相談支援

- ・様々な相談を受け、必要があればすぐ訪問し、内容を的確に把握できるように努めた。
- ・ケアプラザから遠い所への定期的な出張相談（コミュニティハウス利用）を月1回通年で行った。
- ・相談内容に応じて適切な情報を提供し関係機関や制度に繋げた。（今年度は、生活支援課、精神科病院、有料老人ホームにつなげるケースが多かった。）
- ・民生委員等地域の関係機関から情報があり、支援が必要と判断した場合は、積極的に訪問を行った。
- ・必要に応じて継続的にフォローし、区役所とも情報を共有した。（精神障害者、ゴミ屋敷問題等を含む）

（2）権利擁護業務

① 成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

- ・旭区版エンディングノートを活用して3回シリーズの講座を開催。その中で成年後見制度の説明も行い普及啓発を行った。
- ・成年後見制度について知りたいと相談に来られた方に制度説明と申し立ての案内を行った。
- ・老人クラブの定期訪問でオレオレ詐欺の新型手口について話し、注意喚起を行った。
- ・本人の意思に反した購入契約をしてしまった方に消費者生活センターへの連絡やクーリングオフについての説明を行った。
- ・日常生活自立支援事業（あんしんセンター）が必要と思われる方を利用へとつなげた。

② 高齢者虐待への対応

- ・民生委員やケアマネジャー、サービス事業所等と情報交換を行い、虐待（介護放棄のようなものも含む）につながりそうなケースの早期発見に努めた。
- ・原因（介護力の問題、経済的な問題等）を考え支援の方向を検討した。
- ・虐待に関係のありそうな事案がある際は、所内各部署と協議し、区とも連携を取り対応した。
- ・介護者のつどい等に参加することで、介護疲れを相談しやすいようにした。

③ 認知症

- ・ 認知症サポーター養成講座を実施。(地域住民向け・中学生向け)
- ・ 「旭区もの忘れ相談シート」を活用し、精神科病院の受診が円滑に行えるようにした。(事前に情報提供する場合や受診同行時に使用)
- ・ 認知症初期集中支援チームの PSW に地域ケア会議に出席してもらいネットワークの構築に努めた。
- ・ 認知症カフェ「けあぶらカフェ いこい」を月 1 回開催し、認知症の方を含む色々な方が交流できる場を提供した。
- ・ アルツハイマーデイに施設内にコーナーを設け認知症についての正しい理解の促進に努めた。
- ・ 徘徊をしてしまう方について、家族や関係機関に SOS ネットワークシステムの説明を行い、登録してもらった。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

① 地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ・ 老人(かがやき)クラブや自治会の会合、また地域で活動する団体から講師依頼を受け、地域包括支援センター、介護保険、ケアマネジャーの役割についての説明を行い、支援が必要な際の流れの周知を行った。
- ・ 生活支援コーディネーターと連携を取りながら地域資源の情報収集に努め、必要なケアマネジャーに情報提供を行った。
- ・ 民生委員と頻繁に関わりを持ち、情報の共有を行った。必要があるケースは同行訪問を行った。
- ・ 地域ケア会議等において、ケアマネジャーと民生委員、自治会等、地域住民やボランティア団体が情報を交換できる機会を作った。

② 医療・介護の連携推進支援

- ・ 必要に応じて医院や病院の医療相談室を訪問し、情報共有と関係づくりに努めた。
- ・ 協力医と地域のケアマネジャーが関係を深められるよう懇親会を開催し、情報交換の機会を作った。
- ・ 相談者に「旭区もの忘れシート」を紹介し、受診時に医師に症状を伝える際に活用してもらった。
- ・ 旭中央病院の看護の日のイベントで福祉相談コーナーとして協力した。
- ・ 旭中央病院と共催で市民公開講座を開催し、医師に講演してもらった。
- ・ MSW との連携を強化し、連絡をとりあうことが増えた。

③ ケアマネジャー支援

- ・ケアマネジャーから相談を受けた場合は、プランの見直し等丁寧に対応することを心がけた。また、居宅会議に定期的に参加し、支援・連携に努めた。
- ・サービス担当者会議の開催に際して支援を行った。
- ・困難事例について、ケアマネジャーと密に連絡を取り、必要があれば同行訪問した。
(成年後見申し立て事例、在宅生活ぎりぎりの事例等)
- ・緊急対応が必要なケースは一緒に対応した。
- ・川井・笹野台地域ケアプラザと共催でケアマネジャー連絡会を開催した。テーマについては、ケアマネジャーが関心を持てるものを選んだ。
- ・旭区全ケアプラザの主任ケアマネジャーと協力して、新任・就労予定ケアマネジャー向けの研修を実施し、実習生も受け入れた。
- ・今年度初めての試みとして主任ケアマネジャー交流会を行った。
- ・旭ケアネットの後方支援を行った。

(4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

- ・「地域ケア会議」で地域内の様々な関係機関に声をかけ、それぞれの立場から意見を出してもらった。意見交換により、地域の多職種協働のネットワークを意識してもらう機会となった。
- ・個別事例から出てきた課題を共有し、それぞれの役割を考えることができた。

(5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

- ・要支援者等が自ら持つ意思を重視し、意欲を引き出して自分らしい生活ができるよう支援を行った。
- ・委託を行う際は、担当ケアマネジャーと連携を取り、要支援者等が安心して支援を受けられるよう努めた。
- ・適切なマネジメントができるよう研修に参加し、内容を所内職員間で共有した。
- ・要支援者等へのケアプラン作成に関して、ケアマネジャーから相談があれば、目的志向型の介護予防ケアマネジメントの理念を説明した。
- ・エリア内ケアマネジャーに介護予防ケアマネジメントについての研修や介護予防・日常生活総合事業についての説明を行った。
- ・エリア内のサービスB事業所など地域のインフォーマルサービスについての情報をケアマネジャーに伝えた。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業

- ・ エリア内高齢者の活動の場（老人（かがやき）クラブの定例会、茶話会等）に出向いて、情報収集を行うとともに、体操や脳トレ、理学療法士による講演、口腔ケア等のミニプログラムを提供して、介護予防の考え方の普及に努めた。
- ・ 介護予防普及啓発事業「GOGO 健康講座 2017」「男性のための GOGO 健康講座」を開催し、ロコモ予防、口腔、栄養のプログラムで介護予防の一般知識を取得してもらった。
- ・ 「ゆっくりノルディック」は、地域交流と相談し、新しいプログラムとして、対象者や次へのステップへのつながり方などを検討してから開始した。
- ・ 月1回のコミハ出張相談の前編1時間を「コミハ健康講座」とし、体操や脳トレ等で閉じこもり予防の場づくりに努めた。
- ・ ケアプラザを会場として活動をしている自主グループに対して、活動の評価ができるよう体力測定を開催した。

5 その他

--

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との相違部分

7 施設の適正な管理について

(1) 施設の維持管理について

- ・ 建築基準法 12 条点検により、問題のあった箇所について適正に処理した。
- ・ 1 年を通し、修繕管理システムを活用して計画的な小破修繕を実施した。
- ・ 建物、備品の定期保守点検を実施し、適正な管理に努めた。

(2) 効率的な運営への取組について

- ・ 電気料を見える化し、職員の省エネ意識の増進を図った。
- ・ 1 階の南側にゴウヤを植えてグリーンカーテンによる省エネ対策を実施した。

(3) 苦情受付体制について

- ・ 介護保険事業に於いては、苦情受付窓口を明記してご利用者に周知した。

(4) 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- ・ 計画的な防火防災訓練として、避難訓練を行うほかに、デイサービス送迎時の緊急連絡体制として、トランシーバーを導入し、実際に伝達訓練を実施した。
- ・ 11 月に福祉避難場所開設訓練として、勉強会や仮設トイレ設置訓練、避難者受け入れ訓練など、具体的な内容について訓練を実施した。
- ・ 備蓄品について適正に管理した。

(5) 事故防止への取組について

- ・ リスクマネジメントとしてヒヤリハットやインシデントを活用して、介護職員に対し注意喚起した。
- ・ 個人情報漏洩を予防するためマニュアルに沿って運営した。

(6) 個人情報保護の体制及び取組について

- ・就労職員に対し、個人情報保護に関する研修を行い、日常業務に於いて認識を高めた。
- ・ファイル保管庫の施錠や USB の保管場所の施錠、パソコンをワイヤーで施錠するし持ち出しを禁止するなどマニュアルの徹底に努めた。

(7) 情報公開への取組について

- ・第三者評価を受け、ホームページなどの媒体を利用して情報を公開した。

(8) 人権啓発への取組について

- ・成年後見制度や消費者被害などについて、高齢者の権利擁護についての講演や、かがやきクラブ活動時に訪問してのチラシ配布などにより注意喚起に努めた。

(9) 環境等への配慮及び取組について

- ・グリーンカーテンや電力の見える化により、夏の電気料の消費量軽減に努めた。
- ・エコキャップやゴミの分別処理を適正に行った。
- ・計画的に害虫駆除を実施した。

【介護保険事業】

●指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

保健師・・・・・・・・・・1名
 社会福祉士・・・・・・・・・・2名
 主任介護支援専門員・・・・1名

《目標に対する成果等》

高齢者が住み慣れた地域で、自分らしく生活できるように支援する。
 地域ケア会議で地域の課題抽出に取り組み、課題解決に向けて地域活動交流コーディネーターや生活支援コーディネーターと5職種で連携する。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

なし

《その他（特徴的な取組、PR等）》

65歳以上の高齢者が6000人を超え、地域包括支援センター職員が4名に増員になり、総合相談の体制や地域との関わりが強化された。

《利用者実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
80	79	79	87	91	92
10月	11月	12月	1月	2月	3月
96	97	100	101	103	105

●居宅介護支援事業

《職員体制》

管理者（主任介護支援専門員兼務）・・・・・・・・・・1名
 主任介護支援専門員（常勤・兼務）・・・・・・・・・・1名
 介護支援専門員（常勤・専任）・・・・・・・・・・3名
 介護支援専門員（非常勤・専任）・・・・・・・・・・1名

《目標に対する成果等》

疾患などによって要介護状態になったご利用者が、可能な限り自分らしく在宅生活が継続できるように支援する。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

なし

《その他（特徴的な取組、PR等）》

ご利用者やその家族の気持ちに寄り添って支援している。

《利用者実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
167	174	176	179	171	165
10月	11月	12月	1月	2月	3月
162	166	165	160	165	164

● 通所介護・認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- 食事
- 入浴
- 機能訓練・レクリエーション
- 送迎

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
 - （要介護1） 703 円
 - （要介護2） 830 円
 - （要介護3） 962 円
 - （要介護4） 1,094 円
 - （要介護5） 1,226 円
- 食費負担 720 円
- 入浴 54 円
- 機能訓練加算 60 円
- サービス提供体制加算 20 円
- 中重度加算 48 円
- 認知症加算 65 円
- レクリエーション材料費 50 円～600 円
- 処遇改善加算 18 円～30 円（介護認定区分による）

《事業実施日数》 月曜日～土曜日 週 6 日
日曜日 週 1 日

《提供時間》 月曜日 9:15 ～ 16:15
日曜日 9:15 ～ 12:30

《職員体制》 管理者（常勤兼務）1名
相談員（常勤兼務）3名
常勤介護職員 4名
非常勤介護職員 18名
非常勤看護師（機能訓練指導員兼務）9名
非常勤理学療法士 1名
ドライバー（非常勤）8名
調理員（非常勤）5名

《目標》

- 機能訓練を実施して、転倒や認知症の進行を予防する。
- ご利用者が在宅生活を継続できるように支援する。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- 手作りの美味しい昼食と職員の笑顔でお迎えしている。
- 日曜日のサービス時間終了後に、美容師による理美容サービスを実施している。

《利用者実績（延べ人数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
689	741	703	724	751	694
10月	11月	12月	1月	2月	3月
673	654	623	560	627	629

● 介護予防通所介護・第1号通所事業・介護予防認知症対応型通所介護

<p>《提供するサービス内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 食事 ● 入浴 ● 機能訓練・レクリエーション ● 送迎 <p>《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 1割負担分 <ul style="list-style-type: none"> （週1回ご利用者） 2,084 円 （週2回要支援2） 4,016 円 ● 食費負担 720 円 ● 処遇改善加算 46円～88円（介護認定区分による） ● レクリエーションの材料費 20～600円 <p>《事業実施日数》</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 月曜日～土曜日 週6日 ② 日曜日 週1日 <p>《提供時間》</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 9:15 ～ 16:15 ② 9:15 ～ 12:30 <p>《職員体制》 通所介護と兼務</p> <p>《目標》</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ご利用者の在宅生活での課題を解決できるように支援をする。 ● 機能訓練を実施して、転倒や認知症を予防する。 <p>《その他（特徴的な取組、PR等）》</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 手作りの美味しい昼食と職員の笑顔でお迎えしている。 ● 日曜日のサービス時間終了後に、美容師による理美容サービスを実施している。 <p>《利用者実績（契約者数）》</p> <p style="text-align: right;">【単位：人】</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>35</td> <td>34</td> <td>26</td> <td>36</td> <td>43</td> <td>44</td> </tr> <tr> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> </tr> <tr> <td>42</td> <td>48</td> <td>49</td> <td>42</td> <td>43</td> <td>67</td> </tr> </tbody> </table>						4月	5月	6月	7月	8月	9月	35	34	26	36	43	44	10月	11月	12月	1月	2月	3月	42	48	49	42	43	67
4月	5月	6月	7月	8月	9月																								
35	34	26	36	43	44																								
10月	11月	12月	1月	2月	3月																								
42	48	49	42	43	67																								

平成29年度「横浜市若葉台地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(一般会計)〈地域活動〉

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	13,734,000	200,721	13,934,721	13,934,721	0	横浜市より
利用料金収入			0		0	
指定管理料充当 事業	0		0	600,180	△ 600,180	
自主事業収入			0		0	この列は入力しない
雑入	0	0	0	31,439	△ 31,439	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料	0		0	9,539	△ 9,539	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他(指定管理料充当)	0		0	21,900	△ 21,900	
その他(施設使用料相当額 法人負担分)	3,990,000		3,990,000	3,990,000	0	
その他(提案時控除 法人負担分)	0		0	0	0	
収入合計	17,724,000	200,721	17,924,721	18,556,340	△ 631,619	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	9,000,000	0	9,000,000	9,576,426	△ 576,426	
本俸	7,640,000		7,640,000	6,017,660	1,622,340	
社会保険料	750,000		750,000	666,878	83,122	
手当計	534,000		534,000	2,799,604	△ 2,265,604	
健康診断費	10,000		10,000	7,909	2,091	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	66,000		66,000	84,375	△ 18,375	
その他	0		0	0	0	
事務費	640,000	0	640,000	1,556,523	△ 916,523	
旅費	5,000		5,000	19,742	△ 14,742	
消耗品費	100,000		100,000	496,652	△ 396,652	
会議購入費	10,000		10,000	5,322	4,678	
印刷製本費	5,000		5,000	6,964	△ 1,964	
通信費	100,000		100,000	159,396	△ 59,396	
使用料及び賃借料	0	0	0	4,200	△ 4,200	
横浜市への支払分	0		0	4,200	△ 4,200	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	50,000		50,000	181,745	△ 131,745	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	150,000		150,000	250,090	△ 100,090	
職員等研修費	15,000		15,000	11,873	3,127	
振込手数料	6,200		6,200	21,591	△ 15,391	
リース料	100,000		100,000	107,568	△ 7,568	
手数料	0		0	0	0	
地域協力費	0		0	0	0	
その他	98,800		98,800	291,380	△ 192,580	
事業費	1,380,000	0	1,380,000	1,000,192	379,808	
運営協議会経費	42,000		42,000	7,600	34,400	予算:指定額
指定管理料充当 事業	1,338,000		1,338,000	992,592	345,408	
管理費	5,984,000	200,721	6,184,721	6,266,175	△ 81,454	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算:指定額
光熱水費	3,600,000	0	3,600,000	3,491,353	108,647	
電気料金	1,200,000		1,200,000	1,117,281	82,719	
ガス料金	1,200,000		1,200,000	1,049,945	150,055	
水道料金	1,200,000		1,200,000	1,324,127	△ 124,127	
清掃費	420,000		420,000	484,239	△ 64,239	
修繕費	474,000	200,721	674,721	682,736	△ 8,015	予算:指定額
機械警備費	149,000		149,000	149,072	△ 72	
設備保全費	1,341,000	0	1,341,000	1,454,818	△ 113,818	
空調衛生設備保守	600,000		600,000	296,502	303,498	
消防設備保守	60,800		60,800	59,042	1,758	
電気設備保守	409,000		409,000	321,079	87,921	
害虫駆除清掃保守	60,000		60,000	35,835	24,165	
駐車場設備保全費	40,000		40,000	0	40,000	
その他保全費	171,200		171,200	742,360	△ 571,160	
共益費	0		0	0	0	
その他			0	3,957	△ 3,957	
公租公課	720,000	0	720,000	766,114	△ 46,114	
事業所税			0		0	この列は入力しない
消費税	720,000		720,000	766,114	△ 46,114	
印紙税			0		0	この列は入力しない
その他()			0		0	この列は入力しない
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	この列は入力しない
本部分			0		0	この列は入力しない
当該施設分			0		0	この列は入力しない
二一ス対応費			0		0	この列は入力しない
支出合計	17,724,000	200,721	17,924,721	19,165,430	△ 1,240,709	
差引	0	0	0	△ 609,090	609,090	

自主事業費収入	1,338,000		1,338,000	600,180	737,820	予算:指定管理料を含む
自主事業費支出	1,338,000		1,338,000	992,592	345,408	
自主事業収支	0	0	0	△ 392,412	392,412	⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入	0		0	9,539	△ 9,539	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	4,200	△ 4,200	使用料(横浜市への支払等)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	5,339	△ 5,339	

**平成29年度「横浜市若葉台地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(特別会計)〈包括・介護予防・生活支援体制整備〉**

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料(包括)	28,809,000	0	28,809,000	28,809,000	0	横浜市より
指定管理料(介護予防)	151,000		151,000	151,000	0	横浜市より
指定管理料(生活支援)	5,789,000	△ 1,578,404	4,210,596	4,210,596	0	横浜市より
利用料金収入			0			この列は入力しない
指定管理料充当事業(包括)	0		0	91,200	△ 91,200	
指定管理料充当事業(介護予防)	0		0	0	0	
指定管理料充当事業(生活支援)	0		0	0	0	
自主事業収入			0		0	この列は入力しない
雑入	0	0	0	8,000	△ 8,000	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料	0		0	0	0	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他(指定管理充当)	0		0	8,000	△ 8,000	
その他(提案時控除 法人負担分)	0		0	0	0	
収入合計	34,749,000	△ 1,578,404	33,170,596	33,269,796	△ 99,200	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	31,160,000	0	31,160,000	20,124,647	11,035,353	
本俸	20,000,000		20,000,000	10,570,667	9,429,333	
社会保険料	5,000,000		5,000,000	4,389,684	610,316	
手当計	5,820,000		5,820,000	5,009,975	810,025	
健康診断費	100,000		100,000	20,446	79,554	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	240,000		240,000	133,875	106,125	
その他	0		0	0	0	
事務費	360,000	0	360,000	1,914,798	△ 1,557,798	
旅費	20,000		20,000	25,759	△ 5,759	
消耗品費	100,000		100,000	204,046	△ 104,046	
会議賄い費	5,000		5,000	1,000	4,000	
印刷製本費	20,000		20,000	16,908	3,092	
通信費	20,000		20,000	29,168	△ 9,168	
使用料及び賃借料	3,000	0	3,000	4,200	△ 1,200	
横浜市への支払分	3,000		3,000	4,200	△ 1,200	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	0		0	0	0	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	30,000		30,000	46,600	△ 16,600	
職員等研修費	0		0	0	0	
振込手数料	1,000		1,000	1,884	△ 884	
リース料	0		0	0	0	
手数料	0		0	898,752	△ 898,752	人材派遣紹介会社手数料
地域協力費	0		0	0	0	
その他	158,000		158,000	686,481	△ 528,481	
事業費	1,640,000	0	1,640,000	1,013,923	626,077	
協力医	630,000		630,000	630,000	0	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(包括)	550,000		550,000	181,900	368,100	
指定管理料充当事業(介護予防)	151,000		151,000	151,370	△ 370	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(生活支援)	309,000		309,000	50,653	258,347	予算:指定額
管理費	1,589,000	0	2,172,000	1,610,195	561,805	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算:指定額
光熱水費	1,021,000	0	1,021,000	928,080	92,920	
電気料金	309,000		309,000	296,998	12,002	
ガス料金	304,000		304,000	279,099	24,901	
水道料金	408,000		408,000	351,983	56,017	
清掃費	106,000		106,000	128,720	△ 22,720	
修繕費	126,000		126,000	126,000	0	予算:指定額
機械警備費	40,000		40,000	39,626	374	
設備保全費	296,000	0	296,000	386,718	△ 90,718	
空調衛生設備保守	134,000		134,000	78,816	55,184	
消防設備保守	13,000		13,000	15,694	△ 2,694	
電気設備保守	100,000		100,000	85,348	14,652	
害虫駆除清掃保守	9,000		9,000	9,525	△ 525	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	40,000		40,000	197,335	△ 157,335	
共益費	0		0	0	0	
その他	583,000		583,000	1,051	581,949	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税	0		0		0	
印紙税			0		0	
その他()			0		0	
事務経費(計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	この列は入力しない
本部分			0		0	
当該施設分			0		0	
二一ズ対応費			0		0	
支出合計	34,749,000	0	35,332,000	24,663,563	10,668,437	
差引	0	△ 1,578,404	△ 2,161,404	8,606,233	△ 10,764,637	

自主事業費収入	1,010,000			91,200		予算:指定管理料に含む
自主事業費支出	1,010,000			383,923		
自主事業収支	0			△ 292,723		⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入	0			0		駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人
管理許可・目的外使用許可支出	0			4,200		使用料(横浜市への支払等)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0			△ 4,200		

平成 29年度 地域ケアプラザ収支報告書<介護保険事業分>

施設名: 若葉台地域ケアプラザ

平成29年4月1日～平成30年3月31日

(単位: 千円)

	科目	介護予防支援	居宅介護支援	通所介護	予防通所介護・ 第1号通所介護
収入	介護保険収入	1,663,735	35,756,033	81,055,215	2,388,324
	その他	28960000	1939928	0	0
	介護予防ケアマネジメント 費	0	1,939,928		
	事業・負担金収入	28,960,000			
	その他				
収入合計(A)		30623735	37695961	81055215	2388324
支出	人件費	14,749,141	24,469,149	69,982,926	0
	事務費	2,402,853	1,827,877	4,787,195	0
	事業費	1,821,158	2,552,597	6,121,140	0
	管理費	1,484,195		6,638,160	
	その他	299376	0	266957	0
	利用者負担軽減額			266,957	
	消費税				
	介護予防プラン委託料	299,376			
	その他				
支出合計(B)		20756723	28849623	87796378	0
収支 (A) - (B)		9867012	8846338	-6741163	2388324

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同様に記載をしてください。

平成29年度 自主事業収支報告書

施設名 **横浜市若葉台地域ケアプラザ**

事業名	①主な対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
ゆるやか体操	75歳以上の高齢者	297,413	地活	91,013	206,400	0	215,000	82,413	0
	688		包括						
	300		生活						
らくらく体操	75歳以上の高齢者	215,000	地活	39,800	175,200	0	215,000	0	0
	876		包括						
	200		生活						
なかよし親子体操	未就園児親子	111,486	地活	72,986	38,500	0	110,000	0	1,486
	147		包括						
	500		生活						
精神障がい者サロン もぐもぐ	精神に不安のある方	13,159	地活	759	12,400	0	0	13,159	0
	25		包括						
	200		生活						
歌声広場	地域住民	87,254	地活	25,004	62,250	0	60,000	27,254	0
	415		包括						
	150		生活						
ゆっくりノルディック	歩行不安のある方	35,800	地活	35,800	0	0	33,000	0	2,800
	56		包括						
	0		生活						
生活に役立つ実用 ペン習字講座	地域住民	13,036	地活	7,836	5,200	0	12,000	0	1,036
	52		包括						
	100		生活						
土曜コンサート	地域住民	164,572	地活	164,572	0	0	150,000	0	14,572
	1262		包括						
	0		生活						
クール来～る広場 (クールシェア)	地域住民	27,495	地活	4,165	23,330	0	0	27,495	0
	89		包括						
	カレー・コーヒー代		生活						
歌と落語の会	地域住民	15,120	地活	15,120	0	0	15,000	0	120
	81		包括						
	0		生活						
福祉フェア	地域住民	88,591	地活	12,091	76,500	0	0	88,591	0
	200		包括						
	飲食代等		生活						
ボランティア交流会	地域住民	5,530	地活	5,530	0	0	0	0	5,530
	27		包括						
	0		生活						
よこはまシニアボランティ アポイント登録研修会	65歳以上の地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	0
	15		包括						
	0		生活						
若葉台中学校 地域交流の日	若葉台中学校生徒	0	地活	0	0	0	0	0	0
	180		包括						
	0		生活						
ジュニアボランティア 講習会	地域の小学生	0	地活	0	0	0	0	0	0
	13		包括						
	0		生活						

平成29年度 自主事業収支報告書

施設名 **横浜市若葉台地域ケアプラザ**

事業名	①主な対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
パン工房わかば	地域住民	1088	地活	0	0	0	0	0	0
			包括						
	パン購入代		生活	0					
孫子老の日 中学生車いす講座	地域の中学生	15	地活	0	0	0	0	0	0
			包括						
			生活	0					
けあぷらカフェ いこい	地域住民	202	地活		22,200	0	0	23,180	0
			包括	980					
	コーヒー代		生活	10					
歌って健康！	65歳以上	230	地活		69,000	0	144,000	0	0
			包括	75,000					
			生活	300					
コミハ健康講座 & 出張相談	高齢者及び地域住民	45	地活		0	0	0	0	6,720
			包括	6,720					
			生活	0					
エンジョイわくわく クッキング	65歳以上の地域住民	144	地活		0	0	0	0	0
			包括	0					
			生活	0					
介護者のつどい	地域住民	22	地活		0	0	0	0	0
			包括	0					
			生活	0					
ゆずりは出前講座	ゆずりは会会員	257	地活		0	0	0	0	0
			包括	0					
			生活	0					
エンディングノート 活用講座	地域住民	102	地活		0	0	8,000	0	0
			包括	8,000					
			生活	0					
無料法律相談	地域住民	4	地活		0	0	0	0	0
			包括	0					
			生活	0					
横浜旭中央病院 市民公開講座	地域住民	63	地活		0	0	0	0	0
			包括	0					
			生活	0					
男性のためのGOGO 健康講座	65歳以上の男性	172	地活		0	0	77,000	0	0
			包括	77,000					
			生活	0					
GOGO健康講座	65歳以上の地域住民	70	地活		0	0	37,000	0	0
			包括	37,000					
			生活	0					
からだいきいき体力測定	自主化したグループ	13	地活		0	0	15,000	0	0
			包括	15,000					
			生活	0					
ロコトレ & コグニサイズ	65歳以上	59	地活		0	0	10,000	0	0
			包括	10,000					
			生活	0					
認知症サポーター 養成講座	地域住民	107	地活		0	0	0	0	0
			包括	0					
			生活	0					
ボランティア養成講座 ～入門編～ ボランティア活動の基本 のき	地域住民	8	地活		0	0	0	0	0
			包括						
			生活	0					

平成29年度 自主事業収支報告書

施設名 **横浜市若葉台地域ケアプラザ**

事業名	①主な対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
ボランティア養成講座 ～スキルアップ編～ 「あなたも聞き上手に！」	地域住民		地活						
	15		包括						
	0	0	生活	0	0	0	0	0	0
旭ふれあい区民まつり 行政・PRコーナー出展事 業	旭区住民		地活	0	0	0	0	0	0
	282		包括						
	0	0	生活						
2丁目南自治会 車いす講習会	2丁目南自治会会員		地活	0	0	0	0	0	0
	20		包括						
	0	0	生活						
合同歌声喫茶・2017	旭区住民		地活	0	0	0	0	0	0
	463		包括						
	0	0	生活						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成29年度 自主事業報告書

横浜市若葉台地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ゆるやか体操	75歳以上の高齢者を対象に椅子に座って出来る介護予防体操教室と茶話会 目的：高齢者の健康づくり・住民間の関係づくり	毎週月曜日・年43回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
らくらく体操	75歳以上の高齢者を対象に椅子に座って出来る介護予防体操教室 目的：高齢者の健康づくり	毎週月曜日・年43回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
なかよし親子体操	未就園児親子と一緒に参加できる体操教室 目的：育児中の親子の居場所と健康増進	毎月1回・年11回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
精神障がい者サロンもぐもぐ	精神に不安のある方の居場所づくり 目的：精神障がい者の余暇支援を行う	毎月1回程・年13回

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
歌声広場	童謡、消化、流行歌を皆で歌う。ティータイムもある。 目的：歌を歌うことによる健康づくりと、古い歌を歌い、回想法による脳の活性化	毎月第4金曜日・年12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ゆっくり ノルデック	歩行に不安のある方や、ストックをうまく扱えていない方に向けた初級講座 目的：地域住民に向けた健康作りと閉じこもり防止	10月～6月 毎月1回・年7回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
生活に役立つ実用ペン習字講座	綺麗に暑中見舞いや年賀状を書けるようになる講座 目的：自主的な福祉保健活動のグループを育成する	夏期・冬期各2回 年4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
福祉フェア	地域で活動する趣味活動団体等による発表。障がい団体や地域で活動する配食団体等による食事提供、ケアプラザの紹介と健康福祉の推進 目的：地域住民と地域で活動する障がい児・者団体等が交流できる機会をつくる。地域で活動する趣味活動団体等が生きがいを持てるよう発表の場を提供。地域に対するケアプラザの周知	10月・年1回

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ク〜ル来〜る 広場(クールシェア)	自宅のエアコン消費電力を抑えて、集まって過ごせる場を提供。カレー、コーヒー、手工芸、ノルディック体験などを実施 目的：電気消費量の軽減と地域住民の多世代交流の場の提供	8月・年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
土曜コンサート	4月(中川ともゆきコンサート) 5月(横浜国大吹奏楽団コンサート) 6月(若葉台混声合唱団コンサート) 7月(童謡コンサート) 9月(歌と落語の会) 11月(ジャズピアノコンサート) 12月(クリスマスヴァイオリンコンサート) 1月(新春演歌ショー) 3月(マンドリンコンサート) 目的：地域住民に向けての交流事業、また高齢者の閉じこもり防止	月1回・年9回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア 交流会	地域でボランティア活動をしている方や興味のある方に集まってもらい、意見交換や情報共有を実施 目的：地域で活動する個人・団体ボランティアが双方での情報共有と、これからボランティアを始めたい人のきっかけづくり	2月・年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
若葉台中学校 地域交流の日	中学生に対して、認知症サポーター養成講座、車いす体験、高齢者疑似体験、白杖の説明の実施 目的：中学生に福祉に接してもらう機会を得られることで地域に対する福祉保健の推進を図る	11月・年1回

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
孫子老の日中学生車いす講座	<p>目的：地域の中中学生を対象に、福祉についての知識や理解を深めてもらう機会づくり。</p> <p>内容：地区社協の事業「孫子老の日」に参加する中学生に車いすの使用方法や注意点について講習会を実施。</p>	9月・年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
よこはまシニアボランティアポイント登録研修会	<p>目的：よこはまシニアボランティア登録に必要な研修を実施し、地域住民がいきいきと活動を行えるように支援する。</p> <p>内容：よこはまシニアボランティアポイント登録研修会テキストに基づいての講義。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よこはまシニアボランティア事業の概要 ・ボランティアとは(基礎知識と活動時の留意点) ・ボランティア活動を始めるにあたって 	6月、10月、3月・年3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
パン工房わかば	<p>目的：パン販売を通して生徒の職業意識を高めると同時に地域の方にわかば学園を知っていただく。</p> <p>内容：わかば学園の生徒によるパンの販売と学校紹介。生徒の職業体験。</p>	毎月3回程度 (火曜日・金曜日)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ジュニアボランティア講習会	<p>目的：地域の子ども達を対象に福祉についての知識や理解を深めてもらう機会づくり。</p> <p>内容：ジュニアボランティアの小学5.6年生を対象に、車いす講習会および高齢者体験キットを使用した講習会を実施した。</p>	8月・年1回

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
2丁目南自治会 車いす講習会	目的：地域住民を対象に福祉についての理解を深める機会づくり。 内容：地域の自治会に出向き、車いすの操作や注意点について講習会を実施。	6月・年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
旭ふれあい区民 まつり 行政・PRコー ナー 出展事業	目的：来場しているお客様に地域ケアプラザ及び地域福祉保健計画を知る機会をつくる。 内容：地域福祉保健計画の推進とケアプラザ機能の周知。 ・アンケート ・啓発物配布 ・福祉保健活動の推進コーヒーボランティア 「ペリゴール」によるサイフォンコーヒー配布 ・子育て支援プログラムの提供 射的	10月・年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
合同歌声喫茶・ 2017	目的：歌好きな方が集まって仲間作りや健康作り、また外出の機会をつくることでひきこもり予防。区内全ケアプラザの周知。 内容：区内ケアプラザとボランティア団体・歌声喫茶オアシスと実行委員会形式で運営。	5月・年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア養成講座～入門編～ ボランティア活動の基本のき	目的：これからボランティア活動を始めたいと思っている人が基礎知識を学び、今後の活動に活かせるようにする。 内容：ボランティア活動の基礎知識講座。 若葉台ボランティア活動紹介。	7月・年1回

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ボランティア養成講座～スキルアップ編～「あなたも聞き上手に！」	目的：地域でボランティア活動を行っている方がコミュニケーションのとり方、相手の話を聴くコツを学び、今後の活動に活かす 内容：褒め合いトレーニング 「聞く」「聴く」の違いを学ぶ 自己紹介、他己紹介	11月・年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
けあぷらカフェ いこい	目的：認知症の方とその家族が地域の人と交流でき、専門家に相談できる場所 内容：認知症カフェ	毎月第2日曜日・年12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
エンジョイわくわくクッキング	目的：認知症を予防する(料理を通して脳の活性化を図る) 内容：高齢者を対象とした料理教室 ・区の認知症予防教室OB会が方向を見失わないよう後方支援している。 ・参加費の管理はグループの代表が行っている	年11回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
歌って健康！	目的：介護予防の普及・啓発を図る。 内容：音楽を通じた健康づくり教室。	毎月1回・年12回

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
エンディングノート活用講座	<p>目的：旭区版エンディングノートを活用し、書き方の講習を通して、権利擁護(成年後見制度、遺言、相続等)の啓発をする。</p> <p>内容：3回シリーズで、エンディングノートの書き方の講習を通し、講師による介護保険制度、成年後見制度、遺言・相続等の説明をする。</p>	10月・11月・年3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ロコトレ&コグニサイズ	<p>目的：運動機能維持・向上と認知課題(計算、しりとり等)を組み合わせた認知症予防。</p> <p>内容：高齢者を対象とした体操と認知機能のトレーニングを組み合わせた講座。</p>	12月・1月・2月・年3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
からだいきいき体力測定	<p>目的：自分の体力を認識し、今後の活動に必要な体力の維持・向上の目安とする。</p> <p>内容：ケアプラザ事業から自主化したグループの活動支援として体力測定を行った。</p>	10月・年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
コミハ健康講座&出張相談	<p>目的：ケアプラザまで距離がある地域の方が相談に来やすいようにする。介護予防の普及・啓発を図る。</p> <p>内容：体操・脳トレ・口腔ケア・相談コーナー。</p>	毎月1回・年12回

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
男性のためのGOGO健康講座	目的：介護予防の普及・啓発を図る。 内容：高齢男性を対象とした健康講座(ロコモ予防体操・栄養講座・口腔ケアを組み入れた年間コース)。	毎月1回・年12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
GOGO健康講座	目的：介護予防の普及・啓発を図る。 内容：高齢者を対象とした健康講座(5回コース)。	5月～・年5回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護者のつどい	目的：介護者へ福祉や介護の情報提供を行う。介護者同士の情報交換、気分転換を図る。 内容：家族の介護をしている人、介護経験のある人、介護に関心のある人を対象とした茶話会、催しもの、医師を招いての懇談会、福祉や介護の情報提供。	5月～・年6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症サポーター養成講座	目的：認知症についての知識を深め、実際の対応方法を学ぶ。 内容：一般住民、ジュニアボランティアを対象とした認知症サポーター養成講座(認知症についての講義、寸劇)。	4月・10月・11月・年3回

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
無料法律相談	<p>目的：法的な問題を、専門家に無料で相談できる機会を設ける。</p> <p>内容：財産管理、後見、相続、消費者問題等法的な問題を専門家(弁護士)に相談する。</p>	6月・年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ゆずりは 出前講座	<p>目的：出前講座を通じて介護予防の意識を高める。福祉や介護の情報を提供する。</p> <p>内容：地域包括支援センターとは 介護予防について 認知症について 転倒予防について 消費者被害の予防、啓発について講座を実施。</p>	6月～11月・年4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
横浜旭中央病院 市民公開講座	<p>目的：地域住民に専門医による身近な疾病についての講座受講の機会を設ける。</p> <p>内容：地域医療機関である横浜旭中央総合病院の医師が、一般住民にわかりやすく疾病について解説する。</p>	6月・11月・3月・年3回